
【想影～指きりの坂道～】

こもれび

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【想影／指きりの坂道】

【著者名】

Z9084D

【作者名】

こもれび

【あらすじ】

ひと夏の喪失と出逢いの物語陽射しの当たらない部屋で切ない夏を感じてみませんか？

プロローグ～『約束』～（前書き）

かなりの長編です。読んでくださったかたは、出来れば最後までお付き合いください。感想心待ちにしております。

プロローグ～『約束』～

結ばれた指

交わされた『約束』

それは遠い昔の想い出……

プロローグ～『約束』～

『いつか想う約束』

『ぜつたい、ぜつたじだよー。』

『あ～もうひとつ！わかったよー。』

あまりのじつけに、根負けして首を縦に振る……フリをしていただけで、心中ではすごく嬉しかったんだ。

『ホント？ ぜつたいのぜつたい！？ 私のこと忘れないよね？ ぜつたい迎えにきてね……私、待ってるから。ずっと、ずっと……ヒツク

『なつ、泣くなよつ……』

『じゅあつ……ゆびきつ、しょ？ 破つたりはりせんぼんなんかじゅ許してあげないんだから！』

こつもは氣の小さこいつが、こんなに必死だったのは初めてだつ

た。

ホントは喜んでくれるならそれくらいいらでもしてあげたかった。

だけど恥ずかしくて、素直にはなれなくて……。

『ゆつ、ゆびきつい？そんなの出来るかよつ、ガキじやあるまいしー』

言いながら、横田でチラツと覗いてみると、案の定両の目を涙でいっぱいにして……でも泣いてはいなかつた。

最後は笑顔で

こいつなりの意地のようだ。

『う、う……ヒック』

必死に堪えている……。

はあ……俺は本つ当地にこいつの泣き顔に弱いなあと思こいつ……

『ホラつー』

『えつ……』

そつぽを向いたまま、左手をつまんだしてやる。

『するんだろ？ ゆびきつ……』

じつと突き出された左手をみつめて、次の瞬間には……

『「つさへー。』

泣き顔が笑顔に変わった

ゆ～びきりげんまん

うそついたら

はりせんぼんの～ますつ

(ゆびきつた!)

ここから、すべてが始まつたんだ……。

そして……懐かしいハズの島に帰ってきた夏、物語は再び加速し始める。

静かに、
だけど確実に……。

「雪君島」

7年前に俺達家族が離れた島だ。
いや、正確には離れざるを得なかつたといふべきか……。

ゆきぎみじま
雪君島といつ所は、は名前に反して雪なんか一切降らない年中夏の
よつな島で、島といつよりは一つの大きな山が大半を占めている…
…らしい。

らしい、と言うのは今の俺には島に居たころの記憶がすっかり抜け
てしまつてゐるからだ……。

当時島は活火山であつたが、噴火の恐れなど毛ほどもなかつた。

……が、俺達家族が親父仕事の関係で島から離れる前日に

雪君島は、噴火した

まさに寝耳に水。

何の対策も非難ルートの確保もされていなかつたうえに、噴火自体
も記録に残るほどの規模で、被害は凄まじいものとなつた。

俺達一家は島を離れる準備をしていたため、難を逃れることが出来た。

俺と、親父だけ……

母さんと妹の夏奈は……俺と父さんの田の前で流れ来る溶岩の中に飲まれていった。

記憶を失くした今も、肝心のこの瞬間だけは消しきれていない。薄ぼんやりと、今だにあの時の景色が夢に出てきたりする。

離島を終えたあとの俺は、それはひどいものだつた……。

10歳の子共にとって、肉親が目の前で……しかも一人も死ぬと言つことはとても耐えられるものではなかつた。

記憶を誤魔化さないと、生きていけない程に。

国からの支援を受けながら、ほとんど廃人のような俺を親父は男手

一つで育ってくれた。

だけど 愛する妻、娘を失つたのは親父も一緒に。

そんな、肉体的にも精神的にも限界だった時、父を支えてくれたのが雪路さんだつた。

その後二人は結婚して今に至る。

当時は恥ずかしくて『母さん』なんて呼べなかつたけど、今ではお袋呼ばわりである。

そして、それまで光りを失つていた俺を、ここまで元気にしてくれたのは再婚と同時に出来た二つ下の妹、桐子だつた……。

NEXT The 1st Memory

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9084d/>

【想影～指きりの坂道～】

2010年10月13日17時31分発行